

Nishidani  
E. SCHOOL

## にしだに

No.6

QRコード

ホームページでも公開しています。アドレス <https://touon-nishidani-e.esnet.ed.jp>

## 稲刈りをしました！

9月18日(水)3年生以上で稲刈りをしました。暑い中、力を込めて手鎌で刈り取ったり、稲を束ねてわらで結んだりとかかなりの重労働でした。乾いた後、脱穀をしていただけ、今年は30kg入りの袋で2俵できました。その後、精米して小分けし、全校児童に配りました。田植えから始まり、稲刈りまでお世話をしてくださった和田丸の皆様、子どもたちのために本当にありがとうございました。



## より速く、高く、遠くへ！ 東温市小学校陸上運動記録会

東温市小学校陸上運動記録会が10月1日(火)に実施され、6名の児童が選手として出場しました。今年度は3～6年生がニンジニアスタジアムに行き、声援を送りました。9月5日から練習を始め、自分の限界に挑戦し、日々努力を積み重ねてきました。60mハードル走、60m走、走り高跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、400mリレーの競技に出場し、選手たちは精一杯の力を発揮しました。ほとんどの児童が自己記録を更新しました。応援の態度もとても立派でした。



## ＜参加した6年生児童の感想＞

- ぼくはソフトボール投げに出場しましたが、周りの人たちは40m以上とかガンガン飛ばしていて「すごいなあ」と思いました。ぼく自身は、目標にしていた30mにはわずかに及ばなかったけれど、自己ベストの29mは出せたのでよかったと思えました。(6年)
- 走り高跳びでは、自己最高の115cmを跳び、60m走は高跳びが終わっていなかったけれど、自分でも速く走れてよかったと思います。リレーは、足がとても痛かったけれど、全力を尽くせたのでよかったです。(6年)
- 全力で取り組めたので後悔はありません！！リレーでは不安でたまりませんでした。でも！！本番では余裕をもって行動できて、ホッと安心しました。ぼくにとっては最初で最後の大会…。今回、選手みんなで参加できたことが最高の思い出です。(6年)
- ぼくは今回の陸上記録会で、大きく成長できたと思います。そう感じた一番の理由は、「選手宣誓」です。ぼくはかなり緊張していました。みんなからは「失敗しても大丈夫だよ。」って言ってもらえただけれど、失敗したらいけないような雰囲気でした…。でも！！成功しました。声もバッチリでした。いい経験ができてよかったです。(6年)
- 一番大切なのは「自分が大会に挑む『態度』や『気持ち』がどうだったか」だと思っています。私自身は、今日、このすべてがちゃんとできていたと自信を持って言えます。応援してくれたみんな、本当にありがとう。最後の記録会、心に残るものになりました。(6年)

## 実りの秋「さつまいもほり」

10月11日(金)自分たちが植えたさつまいもの収穫をしました。土の中で育っているさつまいもがどれくらいの数や大きさになっているかどきどきしながら、茎をひっぱりました。すると・・・出てくる出てくる。子どもの顔と同じくらい大きなさつまいもも出てきて、夢中になって土を掘り起こしました。その後、掘ったさつまいもを使って、あらかじめ選んでおいた3種類の大きさ(大・中・小)のさつまいもの重さを班で相談して当てるゲーム「何キロで賞」や草の中やブロックの陰、木の枝などに隠れている芋を探し出すゲーム「いもかくれんぼ」などをして盛り上がりました。大満足の芋掘り活動となりました。



## 人権・同和教育参観日

10月16日(水)、いじめや差別をしない、許さない、見逃さない態度を育成し、思いやりのある学校・地域づくりを目指して人権・同和教育参観日を実施しました。各学年の発達段階に応じて、自分や友達を大事にすること、友達との関わり、命の尊さなどをじっくりと考えることができました。

### <児童の感想>

- (人権擁護委員さんのお話を聞くまで) いちばんだいじなのは、そうだんをすることだとはおもわなかったけれど、そうだんするのもいいとおもいました。(1年)
- 『白い魚とサメの子』をべんきょうをしてわかったことは、「いじわるをしないこと」「見て見ないふりをしないこと」「なかよくあそぶこと」「いのちはたいせつ」ということです。おやにとって、子どもはだいじということをまなびました。(1年)
- みんなちゃんと意見を出してくれたし、同じ学年だけでなく3年生ともたくさん話すことができうれしかったです。これからも学年問わず、みんなで協力し合っていきたいです。また、おたがいに言葉だけで伝え合うことのむずかしさを知ることができました。(4年)
- みんなはきはきと知っているじょうほうを話してくれて分かりやすかったです。その時々話していることに合わせてみんなが話し合い、意見を出し合ってくれたので、話し合いがとても進めやすかったです。(4年)
- ぼくが参観日で学んだこと、それは「家族に対する感謝の気持ちと思いやり」です。これから生きて行く中で、大人に近づくにつれて、家族と別で暮らすようなことになってしまうことがあるかもしれません。でも、働いて稼いだお金を振り込んだり、積極的にお手伝いをしたりして、感謝の気持ちを表したいと思っています。そして、今一緒にいる時間を、これからも大事にしていきたいです。(5年)
- 家族には、今まで勉強で苦しいとき、いいことがあって楽しいとき、近くで支えて見守ってもらっていました。しかし最近、めんどくさくてお手伝いをサボったり、あれこれと理由を付けて自分には関係ないって知らないふりをしたりしていました。今回の学習で改めて「きちんとしなければ」と思い直しました。自分の役割をしっかりと考えて頑張ることを宣言します。ぼくは食べるのが好きだから、まずは料理の手伝いからかなと思っています。(6年)





## 家庭教育学級【ストレスとコミュニケーション】

10月16日(水) 参観授業の後、第2回家庭教育学級を行いました。地域にお住まいの作業療法士の方を講師としてお招きし、「ストレスとコミュニケーション」という演目で講演していただきました。保護者とともに全校児童も参加し、親子で会話しながら楽しく学習しました。

### <保護者の皆様の感想>

- コミュニケーションの大切さがよく分かりました。
- 人間関係に悩んでいるので少しためになった。
- ストレスの解消には、運動が良いというお話があったので、身体を動かすようにしたい。
- 日々、様々なストレスにさらされていますが、大人だけでなく、子どももイライラしていることが多くなっています。そんなときに親子でお互いに褒め合って少しでもストレスを解消することができればいいなと思いました。私も褒めることは苦手なので、意識して子どもたちにも話し掛けていきたいと思いました。
- 家の中では、ゲームやスマホに熱中してあまり話ができないときがあります。親子でお互いに良いところ、悪いところを話すことができ良かったです。子どもも意外と親のことを見ているんだなあと・・・。
- 質疑応答の距離感が近くて話しやすかったです。親子学習なので、保護者の出席率が高くて良かったと思います。ですが、子どもには興味が薄い内容かな。学習内容は日々の会話にプラスしてみようと思います。大人も子どもも「考え方のクセ」はあると思いますが、自分を受け入れて、いろいろな工夫を学んでもらえたらいいなと期待しています。
- 自分のことを記入するワークショップで子どもが自分のことをどう捉えているのかということも知り、良い機会でした。互いに褒め合う時間では、日頃は聞けない言葉も聞け、とても嬉しい時間でした。ストレスの解放、家族と話す、体を動かす、趣味を楽しむ、大事だと思いました。
- 大人になり、社会に出ると自分のいやなことばかり気になりますが、自分の“すきなところ”を記入してみたら気分が楽しくなり意外と私ってイケる！！なんて思っていました。ストレスは「万病のもと」だと思うので、ストレスを感じたらまた、自分の好きなところを考えて気分をあげていこうと思います。
- 親子でまた夫婦で日常を振り返る、いい機会になりました。
- 自分のいいところ、悪いところを改めて紙に書くことなんてなくて、自分のことを知るきっかけになりました。子どもたちについても、いつも怒ってばかりでちゃんと良いところを日頃からたくさん伝えられていないことに気が付けられたので今後はたーくさん！！伝えます！！
- 自分の良いところ、好きなところ、嫌いなところについて改めて考える機会になりました。言語化し、更に文字にすることは客観視できて良かったです。いただいた資料についてもう少し解説があればありがたいなと思いました。親子で本音を言い合える楽しい時間になりました。
- コミュニケーションによる対処法以外のリラックスできる呼吸法やストレッチ方法を教えていただけたら更に参考になると思いました。
- ストレスを感じたらこまめに周囲の人に吐き出すこと、運動が大事なことなど知ることができてとても勉強になりました。
- 子どもの良いところ、好きなところをもっとたくさん本人に伝えていこうと思いました。
- ほめることに関しては、改めて良いところを伝えられているかというとなかなかできていないと思うので、これからはどんどん良いところ、好きなところを伝えていけたらいいなと思います。
- 良いところを探すのは意外と難しく、じっくり考えたこともなかったのですが、小さなことでも頑張っている自分を褒め、自己肯定感をあげていきたいなと思いました。悪いこと、できていないことに目がいきがちな毎日ですが、しっかりと子どもができてい、頑張っているところを見たいなと思いました。しっかりと声に出して伝える！！



## 給食試食会

10月16日(水)家庭教育学級の後、給食試食会がありました。子どもたちは、おうちの方と隣同士で座って給食を食べ、うれしそうでした。東温市の給食は、ほとんど東温市で取れた材料を使用しており、おいしいと評判でした。また、川上小学校から栄養教諭をお招きし、学校給食の意義や目的、食材に含まれる栄養素等について詳しく教えていただきました。



### <保護者の皆様の感想>

- 我が家の味付けは、味付けも濃く、量も多いようなので、少し改善した方が良いと感じました。
- 東温市の給食はとてもおいしくて、お兄ちゃんの頃から変わらないおいしさに驚いています。原料価格の高騰もあり、この質を保つのは大変だろうと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。
- 何度参加させてもらってもやはり懐かしなと思います。子どもは家ではなかなか食べてくれない野菜も給食ではパクパクもりもりよく食べていました。栄養面を考えて子どもたちのためにありがとうございます。
- 子どもたちの給食を食べている様子が見られておもしろかったです。決められた時間配りがあるのは分かりますが、少し急ぎの食事になっているように感じました。薄味に思えるくらい濃い味の食生活になっているんだなと反省点を見つけ、今後なるべく気を付けたいと思いました。
- 日頃見ることのできない給食風景を見て、準備から片付けまで皆で行う姿に成長を感じました。旬の野菜や東温市産のもの、また、自分たちで育てた青パパイアも給食に使われていることで手間を惜みず、子どもたちの食育に取り組んでいただき、ありがたく思いました。
- 東温市の学校給食のすばらしさを更に知ることができました。ただ食べるのではなく、食べることで心身に与える影響がどれだけ大切か改めて学ぶことができました。
- 栄養のしっかり入った食べ物を温かく、おいしく提供していただいている、子どもの昼食への安心感になりました。
- バリエーションが少なくいつも同じような味付けになりがちだったり、野菜や魚が高くてなかなかいろいろなもの子どもたちに食べさせていなかったりするので、学校給食は本当にありがたい存在です。
- 味付けも薄味で体に優しくおいしくいただきました。ごちそうさまでした。子どもが食べているもの、食べ方、食べる量など知ることができ、良い体験でした。地元の食材を積極的に使われているということで安心・安全、そして食育にも、とても良い取組だと感じました。
- 東温市給食センターにも行かせてもらい話を聞いたり、選定委員をさせてもらったりして、給食についての東温市の熱い想いを感じました。今日、実際に試食してやはりさすが！という想いがしました。これから食材費高騰もあり、大変だとは思いますが、今後もよろしくお願いします。
- 野菜を上手に取り入れられており、薄味でも味がしっかり感じられてとてもおいしかったです。
- 汁物(味噌汁など)を家ではほとんど食べてくれないのですが、今日の洋風煮込みは、あっという間に完食していました。どれもバランスがとれていて、おいしくいただきました。
- バランスの良いとてもおいしい給食をありがとうございました。
- 昔お世話になっていた給食を久しぶりにいただくことができ、大変嬉しかったです。味付けもちょうど良く、とてもおいしかったです。1ヶ月のスパンでの栄養面を考えられたメニューとのことで、大変ありがたいことだと思いました。家ではなかなかそこまでの栄養面を考えることはできないので、助かります。レシピも参考にさせていただきたいと思います。
- 以前、東温市給食センターさんに見学に行かせていただいたことがあり、本当に清潔な環境でおいしい味付け、地元の食材を使い、栄養バランスをしっかりと考えてくださっているなど改めて感じました。市の給食といえばそんなにおいしい！！というイメージもあまりなかったのですが、とってもおいしかったです！子どもも翌日の給食について「なに？」とよく聞き、帰ってから「全部食べたよ。」と報告してくれます！

